

SUKU² ほけんだより

おこさまにも
おつたえください



かぜ・百日咳・インフルエンザが流行しています！！

現在、かぜや発熱での欠席児童が数名いるほか、栃木県内では百日咳やインフルエンザが流行しているようです。特に、百日咳については、全国的に流行しており、栃木県内でも例年にない感染者数となっているということです。どれも飛沫や接触による感染が多いので、予防に努められますようお願いいたします。

百日咳とは

百日咳菌によって引き起こされる急性気道感染症です。季節性はみられず、どの季節でも起こります。

感染経路や症状

感染経路は、咳やくしゃみなどによる飛沫感染や接触感染です。7日～10日間程度の潜伏期間を経たのち、初期→咳が出る時期→回復期の3つの経過をたどります。

はじめの症状から完全に回復するまでに2～3か月かかります。

【初期】約2週間

鼻水やくしゃみなどの普通のかぜの症状からはじまり、次第に咳の回数が増え激しくなります。周囲への感染力が最も強い時期です。



【咳が出る時期】約2～3週間

百日咳特有の発作性けいれん性の咳（痙咳）が見られます。

コンコンといった連続性の咳に続いて、息を吸うときに笛の音のような「ヒュー」という音が聞こえます。痙咳発作は夜間に多く、しばしば嘔吐を伴います。息を詰めて咳をするため、顔のむくみや結膜の充血、鼻血が見られることもあります。合併症としては、肺炎や脳症などがあります。

【回復期】

激しい発作は次第に弱くなりますが、急にぶり返すことがあります。

保護者の皆様へお願い

- ① かぜ症状（鼻水・せき・のどの痛み・頭痛等）があるときや、おうちの方が見て、顔色が悪い、いつもより元気がない、という状態のときには、熱がなくても、無理をさせずにゆっくり休養をとり、元気になってから登校していただければ幸いです。
- ② かぜ症状があるときには、なるべく、マスクの着用をお願いいたします。
- ③ 出席停止や登校についてご心配なときには、担任または保健室（木村直美）までご連絡ください。

